



2011年は国際森林年

森を訪ねてみませんか。
 生物多様性の保全や、地球温暖化の防止など、森林は重要な役割を果たしています。
 豊かな福井の森を未来に向かって生かすために、私たちが出来ることの第一歩は、森を慈しみ、親しみ、その役割を知ることでないでしょうか。
 福井市の登山家で山岳エッセイストの増永迪男氏に“森先案内”を務めていただき、県内の様々な森の姿を紹介していきます。

タブノキの中に 巨大ヤブツバキが交じる 白石神社の森

文・写真
 山岳エッセイスト 増永 迪男 氏



白石神社
 若狭一宮の元宮。「若狭彦神」「若狭姫神」が降臨された場所と伝えられている。境内にある巨大ヤブツバキは、小浜市の天然記念物に指定されている。

アクセス方法

小浜市の国道27号より、上根来への道に入り、5kmできれいに整備された鵜の瀬に着く。駐車場より橋を渡ると白石神社。

所在地:小浜市下根来



福 井の山の、やや低いところで多く見られる椿を、私は長いあいだヤブツバキと思いこんできた。やぶに生えているからヤブツバキ。
 ところがそうではなかった。山にふつうにあるのはユキツバキかユキバタツバキで、主に海岸近くにみられるのがヤブツバキというから私にはややこしい。
 ところで、このヤブツバキは若狭に行くときにわかには大きくなる。たぶん、暖かい気候が好きなのだろうか。まことに若狭町倉見の闇見神社でみかけたものは、まっすぐに伸びている数本の大木で、ほんとうにびっくりした。
 近ごろ、お水送り行事が行われるようになった遠敷川の鵜の瀬は小浜市白石地区。橋を渡っての白石神社には、巨大ヤブツバキとこれまた大きなタブノキが並ぶ森が残されている。昭和三十年代に始まったお水送りよりも、はるかな昔を伝える森だ。土地の人たちによって、大切に守られてきたのだろう。ヤブツバキの太い幹にはしめ縄が結ばれていた。